



保育所を閉園します

4月から統合保育所「舟形ほほえみ保育園」がスタートします。

3月24日、町内の3保育所で修了式と閉園式が行われ、長い歴史に幕を下ろしました。

南部保育所では修了児11名を含む、地域のみなさん110名が参加し、閉園を偲びました。

真見佐内園長が南部保育所の閉園を宣言すると涙ぐむ方も。これからは新しい保育所で新しい歴史が築かれていきます。



2人だけの卒業式

3月18日、堀内小学校で卒業式が行われ、6年生2人が母校を巣立ちました。

卒業生の森愛里さんは「堀小で学んだことを忘れず、中学校でも勉強に部活に頑張ります」とあいさつしていました。

各学校の特徴がありますが、児童数の少ない堀小の特徴はみんなハキハキ元気よく発言できること。一人ひとりが背負う責任の多さが児童を大きく成長させているようです。



巣立ちのとき

3月16日、舟形中学校で卒業式が行われ、56名が母校を巣立ちました。

統合して新生舟形中学校となってから今回が10回目の卒業式となりました。

卒業生を代表して伊藤雅人くんが「この3年間、本当に多くを学び体験した。舟中での3年を誇りに新しい世界に飛びたい。在校生のみんなは舟中の新しい伝統を築き上げて欲しい。」と答辞を述べました。



ゲートボール大会

3月14日、生涯学習センターで冬季ゲートボール大会が行われました。8チーム約50名が日頃の練習の成果を発揮していました。

優勝は圧倒的な力を見せつけた「舟形チーム」。太折Aチームの連覇を阻みました。



目指せ！オーケストラ！

各小学校の有志のみんでつくる器楽クラブが今年発足し、3月1日に今年の修了式を迎えました。

このクラブは自分が持っている身近な楽器で演奏するもので、現在メンバーは9名。毎月第2土曜日の午後から練習をしています。

現在、来年度の参加者を大募集しています。



新農業委員が決まる

3月4日、農業委員会選挙が告示され、定員数6人に対し、立候補者6名となり、無投票となりました。

3月11日、6名に対し当選証書の交付が行われました。

新しい農業委員は次のとおりです。

伊藤源士(野)、大場和司(長沢1)、佐藤勇(沖の原)、田中譲(福寿野)、加藤勝義(富田2)、加藤嘉久(堀内)



百人一首覚えたよ！

今年、舟形小学校で特色ある学校づくりの一環として取り組んできた百人一首。暗唱大会で85首を暗唱した山川由加里さんと、磯谷悠人くんの6年生2名に、特別賞として奥山町長から3月10日、百人一首がプレゼントされました。

奥山町長は「残念ながらもらえなかった児童もいるが、悔しいと思う気持ちを忘れずに、努力と挑戦の気持ちを忘れないで欲しい。」と激励の言葉を贈っていました。



あかりとつけましょぼんぼりに

3月3日の桃の節句に併せ、各保育所でひなまつりが行われました。

立派な7段飾りの脇に児童が作った手作り雛が飾られた長沢保育所では、3月生まれのお誕生会も合わせて行われました。

古くいにしえから続く、ひなまつり。こうした伝統をいつまでも大事にしていきたいものですね。

Old Kyu News (平成20年3月)



「つみき城」できた！

3月2日、町教育委員会と舟形森林事務所、ブナの実21が主催したつみき広場が生涯学習センターで開催されました。

この日の講師は全国的に活動しているNGOの「オイスカ」。計10,000個のヒノキのつみきを使ってどんな作品ができるかな？

つみき遊びを通して、子どもの発想力や創造力、集中力を育てます。

舟形ほほえみ保育所での実施に向け、今後準備や検討が進められます。

Old Kyu News (平成20年2月)



イギリスからの帰国子女

2月29日、長沢小学校で「ようこそ先輩」が行われ、イギリス留学を終え帰国した、浅沼妙子さん(経壇原)から「イギリスで学んできたこと～自分の個性～」と題しご講演いただきました。

浅沼さんは楯岡高校を卒業後、約3年半、美術を学ぶためにイギリスに留学。イギリスでの生活を通して児童らに「考えるちからを育てることが一番大切。世界にはいろんな考え方があり、自分の考えがすべてではないことを知って欲しい。」と語っていました。



舟形町に新しい”風”が吹く

2月26日、奥山知雄町政が誕生し、今日から新たな4年間が始まります。

奥山町長は全職員に対し、「行政も地域も自助努力が必要。お互いに尊重し合い、自助・互助・公助の精神でまちづくりに取り組んでいきたい。新たな気持ちで町の発展のため、町民の幸せのための行政を行っていきたい。」と訓辞を述べました。

鋭敏な感覚で、スピード感のある行政を目指してこれからもがんばります！



44年間、ありがとう！

2月25日、4年間の任期を満了し、伊藤和昭町長の退任式が行われました。

伊藤町長は町で初めて、行政と町民が一体となって行う「協働のまちづくり」を推進するなど、町政改革に積極的に取り組みました。

昭和38年に町職員となってから44年間の行政生活に別れを告げ、「これからは一町民として静かに町を見守りたい。44年間本当にありがとう。」と感慨深く語っていました。



レディースフェスティバル

2月24日、レディースフェスティバルが行われ、婦人会員など約50名が会場の町中央公民館に集いました。

この日は、金融アドバイザーの水木達郎氏から「あなたも狙われている！悪徳商法の手口と実態」について講演いただいた後、牛乳パックで小さな椅子づくりを体験。また、午後からはフラダンスに挑戦しました。



舟形ほほえみ保育所

1月の広報で名称を募集していました統合保育所の名称が「舟形ほほえみ保育所」に決定しました。応募された森伸広さん(舟形4)は「いつもにこにこ笑顔が一番」とこの名称を考えたそうです。

また、舟形ほほえみ保育所に併設される子育て支援センターの名称は伊藤ミエ子さん(舟形4)考案の「子育て支援センターみらい」に決定しました。

4月5日に入所式が行われ、新たなスタートが切られます。



卓球台を寄贈

今野榮子さん(長沢3)から舟形町へ卓球台2台の寄贈があり、2月21日その贈呈式が行われました。

今野さんは挨拶の中で「卓球を通じた、健康づくりや仲間づくりに役立てて欲しい」と語っていました。

生涯学習センターの卓球台は計10台となり、増加を続ける長沢地区卓球愛好者の練習などに活用されていきます。



ピ・ン・ポ・ン

2月17日、ラージボール卓球大会が行われ、65名が日頃の練習の成果を存分に発揮しました。今年は男女ともに長沢地区の皆さんが大活躍。

長沢地区では卓球クラブ「球友会」が週2回練習しており、実力・練習量ともに群を抜いていたようですね。

入賞された皆さん、おめでとうございます。



バイオマス講演会

2月15日、山形大学農学部の野堀嘉裕教授をお招きしてのバイオマスエネルギー利活用講演会が中央公民館で開催され、町内会長ら約30名が参加しました。

スライドを使っでの講演の中で野堀氏は「舟形町にたくさんあるアクティブな里山林を活用し、木質バイオマスの利活用を図ることで経済や森林の活性化が期待できる。」と力説していました。



考える”力”を育てる

2月13日、南部保育所で「石取り遊び」が行われました。先を読み、次の手を考えるこの遊びは7年前から行われており、中には先生に勝つくらい強い児童もいます。

先生の佐藤政光さん(舟形4)は「最近ではテレビゲームなど、あまり考えない遊びが多い。子どもの頃から考える“力”を育てることが必要だと思っています。」と語っていました。

ルールは簡単ですので、ご家庭でもお子さん相手に一局どうでしょうか？



奥山知雄氏へ当選証書

2月5日告示の舟形町長選で無投票当選を果たした奥山知雄氏へ2月12日、当選証書が附与されました。

あいさつの中で奥山氏は「当選証書を受け取り、身の引き締まる思いがする。行政と町民が協力しあうまちづくりを行なっていきたい。」と決意を述べていました。

奥山氏の初登庁は2月26日となります。



静かなる熱戦！

2月11日、町中央公民館で囲碁・将棋大会が行われ、総勢88名が参加し、静かなる熱戦を繰り広げていました。

今年は将棋に中学生が、囲碁に小学生が参加し強豪ひしめく中で大健闘していました。



舟形コミラット会議

今年、初めての開催となる、舟形コミラット会議が2月9、10日に若あゆ温泉を主会場に行われました。

これまで町と交流のあった、世田谷区、港区、富里市などの方14名が町を訪れ、雪国体験などを通じて相互に交流を深めました。

都市部の方の目には私たちの気付かない舟形町の姿が映っているようです。自然の中で自然と共に生きることが人間の本来の姿なのかもしれませんね。



助けてピーマンマン

2月8日、町食生活改善推進協議会が食育活動の一環として行なっている演劇が舟形保育所で行われました。

ピーマンが食べれない大ちゃんのためにグリーンマントのピーマンマンが大活躍。ハライタバイ菌を見事やつけたぞ！

好き嫌いをしないで何でも食べればピーマンマンのように強くなれるぞ！



かわいいマーチングバンド

この度、町では、(財)日本防火協会の「平成19年度民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進事業」を受け、マーチングバンド一式を宝くじの助成金で整備しました。

舟形保育所に導入されたこの備品を活用し、春の消防演習などの際に火災予防を呼びかけていきます。



エンジョイ！イングリッシュ！

2月7日、町内の小学6年生53名が舟形小に集まり、町議会民生文教委員の5名が見守る中、英語活動を楽しみました。この日の先生は、お馴染みの阿部フオード恵子先生。今回で7回目となる来町ですが、現在の6年生が授業を受けるのは初めて。音楽やアメリカ式手話を交えた楽しい授業に児童を代表して富長小の田中真奈美さんが「好きだった英語がますます好きになった。中学校に行ったら得意科目になるようにがんばります。」と感想を述べていました。



ボランティアの芽を育てよう

介護予防いきいきサポーター養成講座がスタート。全4回の講座で、各地域での介護予防教室のボランティアを育成します。第1回目となった2月5日は30名の受講者が参加し、介護予防の現状や下肢の衰えを防ぐリハビリ体操などを学んでいました。



雪上を駆け回れ！

2月3日、町内の各小学校でスキー大会が行われました。また、昨日までの大雪から一転し、この日は時折日が差す絶好のコンディション。選手らは練習の成果を思う存分発揮していました。



鬼は外福は内

2月1日、舟形保育所で節分の豆まきが行われました。「鬼は～外、福は～内」大きな声で心の中の鬼を追い払いましょう。明後日の日曜日は節分。暦ではもう春です。舟形町はこれから雪が多く降る季節を迎えます。早く春が来ないかなあ



港区と交流協定

1月30日、港区および東麻布商店街と舟形町および舟形町商工会が、「商店街友好都市との交流に関する基本協定」を締結しました。

同地区と舟形町は30年以上の長きにわたり児童交流などで交流を続けています。この協定締結で、今後更なる交流が期待されます。

2月9～10日には舟形町コミラット会議が開催され、約20名が来町します。温かい笑顔でお迎えしましょう。



やったぜ！勝ち越した！！

舟形中学校を卒業後大相撲佐渡ヶ嶽部屋へ入門した、琴奥山(奥山翔太:福寿野出身)が平成20年1月場所を終え、1月29日町長を表敬訪問しました。

琴奥山は今場所序二段東二77枚目で5勝2敗と勝ち越し、来場所へつなげました。

がんばれ！琴奥山！！



教育功労表彰式

1月28日、今年度の教育功労表彰式が行われ、13名が受賞しました。

この表彰は町の教育、芸術、文化の向上に貢献のあった方に送られるものです。

受賞された皆さん、本当におめでとうございます。



楽天イーグルスin舟小

1月27日、プロ野球楽天イーグルスのジュニアコーチ3名による野球塾が行われ、舟形町をはじめ最上管内の野球少年ら約100名がプロの指導を受けました。

ウォーミングアップの後、ピッチング講義やバッティング講義も行われました。参加した選手は「教え方が上手で、すぐに来るようになった。来年こそはスポ少で優勝したいです。」と抱負を語っていました。



鈴木勝治氏祝賀会

昨年、旭日双光章を受賞された前町長鈴木勝治氏の祝賀会が1月27日に行われました。この日は加藤紘一衆議院議員、岸宏一参議院議員はじめ、約130名程の方が参列し、鈴木氏のこれまでの功績を讃えられました。

鈴木氏は謝辞の中で、「叙勲という大きな章をいただくことができ、感慨無量です。町民の皆様感謝しながら余生をまっとうしたい。」と感謝の言葉を述べていました。



屋根までつづく大雪だ

1月26日、長尾地区で高齢者世帯の除雪ボランティアが行われ、2世帯の軒下の除雪を行いました。

軒下の雪が屋根までつながってしまったお宅では、除雪ロータリーを使ってカチンコチンに固まった雪を遠くへ飛ばしていました。

高齢者からは「窓が雪で埋まってしまい真っ暗で不安だった。本当にありがとう。」と感謝の言葉がかけられていました。

平成19年度 立志式



15歳の春

1月25日、舟形中学校で立志式が行われました。立志とは目標を定め、それを成し遂げようとする心のことです。この日は2年生60名が自らの立志を四字熟語にし、決意を発表しました。

大屋美咲さんは、一念発起という言葉に、「自分に甘えず最高学年としての自覚を持って行動する」との思いを込めました。今年受験生。みなさん一所懸命に努力あるのみです。



五橋中写真展示

春から交流を続けている仙台市立五橋中学校との交流の様子や生徒からの手紙が役場玄関ホールに掲示され、訪れる人の目を楽しませていました。



南部保おさいとう

1月25日、南部保育所でおさいとうが行われ、児童と地域の方が今年一年の無病息災、五穀豊穡を祈願しました。

児童らは昨年書いた願い事などを燃やしていました。高く舞い上がると願い事が叶うと言われます。みんなの願いが叶うといいですね。



長保お茶

1月23日、デイサービスセンター遊楽館に長沢保育所のよ子の皆さんが訪れ、お茶会が行われました。

毎年行われているこの行事を楽しみにしている高齢者の方もおり、笑顔の絶えないお茶会となりました。



舟形駅こんにやく

1月21日の大寒にあわせ、舟形駅で玉こんにやくがサービスされました。これは舟形町観光協会が主催したもので、今年初めての企画。

9時13分舟形駅着の町営バスから下車した大勢の方に振る舞われ、温かいこんにやくに心も体もほっかほか。



新春なわとび大会

1月20日、毎年恒例の新春なわとび大会がB&G海洋センターを会場に行われ、約500名が新記録目指して挑みました。

小学校の部では長沢小学校6年の「長沢JUMP! (6年)」が405回の新記録で優勝。

また、個人の部では舟形中学校2年鎌田輝くんが2重跳びで116回の記録で優勝しました。みなさんお疲れさまでした。



リサイクル意識を高めよう

1月16日、新春講演会が行われ、(株)ヨコタ東北社長の横田健二氏からトレーリサイクルについてご講演いただきました。これから町でも積極的にトレーのリサイクルを進めていきますので町民の皆様のご協力をよろしくお願いします。



長者原おさいとう

1月14日、長者原地区のおさいとうが行われました。会場となった富長橋上流の川原に大勢の方が集まっていました。若妻会と婦人会が準備したおでんや甘酒も大好評でした。



介護予防教室

幅地区で昨年末から介護予防教室が行われています。1月13日、第2回目の教室には近所とあまり付き合いのない高齢者など、30名が参加し、体操などで体を動かしていました。また、婦人会の方3名がボランティアで駆け付けてくれました。



南部保応急処置

1月7日、南部保育所で舟形消防分署の指導のもと応急処置訓練が行われました。救急車が到着するまでの対応が大事なんですね。



舟形おさいとう

1月7日、伝統行事の御柴灯が舟形八幡神社で行われ、町内会の方など約70名が今年の無病息災や家内安全を祈願しました。



書・初

1月9日、富長小学校で書き初め大会が行われ全校生徒56名が書道の腕前を競い合いました。

3～6年生が集まった体育館では、シーンとした張りつめた空気の中、指導の真剣な眼差しが光っていました。

児童らは新年を迎えて、心新たに今年1年への願いを書き込めました。



じょうずにかざれたかな

1月9日、舟形保育所で水木だんご飾りお楽しみ交流会が行われ、舟形老人クラブの約30名が児童と楽しくふれあいました。

水木だんごは今年の豊作を願い飾られるもので、同保育所では毎年この時期に行われています。

飾り付けの後、園児の遊戯を鑑賞し、参加者全員でつくたての餅を味わいました。



消防出初め式

1月6日、町消防団の安全祈願祭と出初め式が行われ、団員ら約70名が参加し、今年1年間の無事故・無火災を祈願しました。

Old Kyu News (平成20年1月)



ビーナスハウス登場

大工の大類正洋さん(舟形4)が手作りした、ビーナスハウスが舟形小学校に登場。3年生の児童が社会科で縄文の女神を勉強していたのがきっかけ。

Old Kyu News (平成19年12月)



舟形産「山ぶどう酒」完成

舟形町山ぶどう生産組合が企画した「山ぶどう酒」が完成し、12月10日、完成披露会が開催されました。

このワインは山ぶどうの香りをそのまま閉じこめた健康志向のワインです。会場に訪れた方は「香りが良くとても懐かしい味がする。」と昔を思い出していました。



灯油購入費を助成

急激な原油高騰を受け、灯油購入費助成が決定し、5,000円分の商品券が対象となる方へ支給されました。

対象となったのは低所得世帯でかつ1.高齢者世帯、2.障害者のいる世帯、3.母子父子世帯の3つのいずれかに該当する世帯。

12月27日から、民生児童委員24名と町職員らが181世帯を周りました。受け取った高齢者の方は「本当に困っていた。これで今年の冬は大丈夫だ。」と語っていました。



伊藤源士氏紅綬褒章

昨年、小国川で溺れた少年を救助した伊藤源士氏(野)が11月、紅綬褒章を受章されました。

紅綬褒章とは自らの危険をかえりみず人命救助した方に授与される褒章で、山形県内では57年ぶり2人目の受章となります。

受章を受けて伊藤氏は「大変大きな章をいただいて驚いています。少年は障害も残らず、元気になってよかった。処置が適切だったと褒められました。推薦していただいた方に感謝しています。」と喜びの声を述べてくださいました。



舟小PTA全国表彰

舟形小学校PTAが日本PTA全国協議会長賞を受賞し、12月7日記念祝賀会が行われました。

舟小PTAは全員が専門委員会に所属し、自主的かつ計画的に活動しています。また、代沢交流や見守り隊の防犯活動、命を守る日などの活動が評価されての受賞となりました。

受賞を受け、村上孝志会長は「舟小PTA創立60周年の記念の年にこのような大きな賞をいただけて嬉しい。歴代の会長さんはじめPTAの皆さんが築きあげた歴史が今実を結んだ結果だと感じています。」と喜びを語ってくださいました。



木島静江さん全国表彰

12月6日、第34回交通安全母親全国大会の式典において、前舟形町交通安全母の会会長の木島静江さんが交通安全思想の普及と交通安全の確保のため模範的・実践的活動を行った功績などが認められ、全国交通安全母の会連合会会長表彰を受賞しました。

受賞者は全国で19名、県内では木島静江さん1名の受賞です。誠にありがとうございます。



もみじマークを付けてください

12月31日まで交通死亡事故防止緊急キャンペーンが展開されています。

特に高齢運転者の事故が増加しているため、交通安全協会舟形支部が主体となり高齢運転者を個別訪問し冬道の安全運転の啓発を行っています。

12月5、6日の両日、長沢・富田地区の高齢運転者の家庭を訪問し、「高齢運転者マーク(通称:もみじマーク)」を配布しながら安全運転を呼びかけました。来年6月まで町内全地区を訪問します。



「Firefighter」ってな～んだ!?

阿部フォード恵子先生の英語授業が11月29日、舟形小学校で行われ、町内の小学4年生60名が参加しました。

阿部先生の授業は、文法や読解力など中心ではなく、コミュニケーションを重視したもの。CDやイラストを使って、体を動かしながら学ぶことで理解が早まります。

4年後の2011年から5・6年生の英語授業は必修となりますが、舟形町では5年前から町英語活動研究会が主体となり英語活動を行っています。



見事！プロ並みの作品ずらり

11月26日～12月8日までの期間、堀内地区の農村環境改善センターで「私の作品展」が開催されています。2年目の今年も小学生から高齢者まで30名150点以上の作品が展示されています。

中でも、一見写真かと思間違えるほどの「押し花アート」や、プロが作ったような「五重塔」など、素晴らしい作品が勢揃いです。

期間は残りわずかです。お早めどうぞ。



堀小ジャンベ！！

11月19日、堀内小学校でPTA教育講演会が行われ、ジャンベ奏者の堀米輝樹氏を講師にお招きし、ジャンベ演奏会が行われました。

ジャンベとはアフリカの太鼓で、手で叩いて演奏する楽器です。堀米氏の演奏の後、堀小の児童もジャンベ演奏を体験しました。

児童らは即興で音楽を演奏し、「高い音と、低い音が重なった、迫力のある音楽だった」と感想を語っていました。



うれしいうれしい七五三

11月15日、南部保育所でうれしたのし七五三が行われました。

神主さんのご祈祷の後、児童全員に千歳飴が配られ、嬉しそうな笑顔を見せていました。



舟中で鮭給食

舟形中で11月15日、小国川で採れた鮭を使っの「鮭給食」が行われました。この鮭は小国川漁協から寄付された15匹で、「鮭の黄金焼き」として給食に登場。

生徒らは「おいしい鮭をありがとう」と感謝の言葉を述べていました。



五橋中で収穫感謝祭

今年春に野外活動で町を訪れた仙台市立五橋中学校で11月14日収穫感謝祭が行われました。町からは生徒の民泊を受けていただいた農家の皆さんら40名が参加し、餅つきなどをしながら交流を楽しみました。

春の受け入れから、9月の文化祭、そして今回と何度も交流も交流ができることに、生徒をはじめ、五橋中の方は大感激の様子でした。五橋中は来年も舟形町に野外活動に来る予定となっています。



新生舟形中創立10周年

舟形中学校の創立10年記念式典が開催されました。

新生舟形中学校は、長沢中学校、舟形中学校がそれぞれの歴史に幕を閉じ、平成10年4月1日に新しくスタートし今年で10年目を迎えます。

式典では、記念講演として卒業生の高橋拓也氏(一の関)、曾根田学氏(富田)、沼沢龍氏(一の関)の3名がそれぞれ、中学校時代の思い出や在校生に伝えたいことなどを熱く語ってくれました。



南部保園児が社会科見学

11月8日、南部保育所のよい子のみなさんが社会科見学で4ヶ所を回りました。

この日は舟形消防分署と町役場、中央公民館と舟形マツシユルームを見学。中央公民館では現在開催中の総合文化展を鑑賞し、自分の作品を見つけると「ボクのだ〜」と大はしゃぎでした。

総合文化展は11月12日まで。お早めにご覧ください。

Old Kyu News(平成19年11月)



男女共同参画講演会

11月4日、男女共同参画講演会が行われました。
この日は講師に中央大学法学部教授の広岡守穂氏をお招きし、「妻が僕を変えた日～共に子育て自分育て～」という演題でご講演いただきました。
広岡氏は自らの体験談を中心に講演され、男性なら一度は体験したことのあるドキッと胸が痛むような話などをユーモアも交えながら楽しくお話しいただきました。



自治功労表彰式

11月1日、町の自治功労表彰式が行われました。自治功労は町で最も栄誉ある賞で、地方自治の振興、産業・経済の発展、学術・文化振興などに後見された方に授与されるものです。
今年度は19名の方が栄えある受章となりました。
皆さん大変おめでとうございます。

Old Kyu News(平成19年10月)



ふながた菊花まつり開催中

ふながた菊花まつりが若あゆ温泉を会場に大好評開催中で、10月31日審査会が行われました。
14回目となる今年は9名166作品が出品され、二藤部俊一さんの作品が最優秀賞に輝きました。
11月4日までの開催ですのでお早めにご来場ください。



新しいスクールバスがやってきた

平成5年式のスクールバスが走行距離30万kmを超え、老朽化が激しいため、10月31日に新しいスクールバスが納車されました。

この新型車は安全性を重視した4輪駆動車で冬道にも安全。主に太折地区の児童・生徒と、長沢地区の保育所児童が登下校時に乗車します。

担当する奥山恵司運転手は「子どもは宝。余裕を持った運転で、これまで以上に子どもたちの安全を守りたい」と抱負を語っていました。



文化の秋、みつけた！

10月28日、町の4つの小学校で文化祭が行われました。

長沢小学校では各学年が工夫を凝らした劇を行い、迫真の演技で観客の拍手を集めていました。

写真は3年生の劇「夢地蔵」。お地蔵様に相撲が勝てるようにお願いします。



やったぜ！舟中野球部優勝！

10月21日、鶴岡ドリームスタジアムで軟式野球競技北ブロック大会(県大会)が行われました。

時折激しさを増す降雨の中、舟中野球部は堅実な守備とこのびのびとしたプレーで他を圧倒し、県大会で優勝を果たしました。

来年6月の中体連でも優勝目指しがんばれ！舟中野球部！



目指せマラソンランナー

長沢小学校で10月16日マラソン大会が行われました。長沢小出身の先輩には1997年東京国際女子マラソン大会で優勝したこともある伊藤真貴子さんがいます。

みんな伊藤真貴子さんを目指して力いっぱいがんばりました！



火災に備えて訓練あるのみ

10月14日町総合防災訓練が一の関地区を主会場に行われました。今回の訓練は震度6の地震が発生したという想定で行われ、消防団員や地域のみなさん約200名が参加しました。地震や火災はいつどこで発生するか分かりません。万が一に備えて訓練はしておきたいですね。



長沢小で見守り隊結成

長沢小学校で13日、「じいちゃん・ばあちゃん見守り隊」の講演があり、たくさんの方が参加しました。この見守り隊は、子供たちを犯罪や事故から守るため、登下校の子供たちに積極的に声をかけて、安全な生活が出来るように見守っていくことを目標として結成されたものです。

現在、山形県の小学校の89%にこのような団体があります。昨年、広島県と栃木県で、下校途中に小学生が殺害されるという事件が起き、このような活動が活性化してきたということです。

講演に参加した方は「送り迎えなど、やれることからやっていきたい」と言っていました。



舟形保育所避難・放水訓練

舟形保育所で10月13日、避難訓練があり、消防車のポンプでの放水を体験が行われました。児童たちは、勢いよく出てくる水に釘付けになり、放水が終わるまでじっと見ていました。何名かの児童は、実際にポンプを持って放水を体験し、楽しそうに放水をしていました。

また、消防車のポンプなどを間近で見学し、初めて見る器具などを、興味深そうに見ていました。



ツツジが咲いた！？

10月11日、高階庄之助さん宅では、ツツジの花が秋にも関わらず堂々と咲いていた。「この花は、春と秋に2度咲くが、秋にこんなに咲いたのは初めてだ」と語っていました。

異常気象が関係しているかはわかりませんが、近年の急激な環境の変化が、何か影響しているのではないのでしょうか。



舟形中で読み聞かせ

舟形中学校で10月10日、本の読み聞かせが行われた。毎週ある本の読み聞かせは、童話や落語などの絵本から、小説、体験談などの様々な話を聞くことができます。

読み聞かせは、1年生から3年生まで、全学年が毎週違った人から話を聞かせてもらい、この日も楽しそうに集中して話を聞いていました。



スポーツフェスティバル

10月7日、舟形中グラウンドを主会場に、スポーツフェスティバルが行われました。毎年多くの人に参加するこの行事には、今年もたくさんの人たちが集まり、ソフトボールやゲートボールなど、様々なスポーツが行われ、いろんな年代の人たちが交流を深めていました。

すばらしい好プレーから珍プレーと、笑顔が絶えない楽しい大会となりました。



芋煮会

10月7日、アユパークで芋煮会が行われました。舟形中学校の2年生が日頃お世話になっている地域の人に恩返しをと開かれたこの会には、たくさんの人に参加し、できたてのほかかの芋煮をおいしそうに食べていました。

生徒たちは、自分たちで育てたサトイモを使い、早朝から保護者と協力して約900食分の芋煮を調理し振る舞いました。



男の料理教室

10月10日、今年で2回目となる男性のための料理教室が開かれ、ぶりの照り焼きや肉じゃがなど、4つの班に別れ、家ではあまり料理を作らないという24人の30～60代の男性たちが、ところどころ講師に作り方を聞いたり、相談したりしながら料理をしていました。

単身や一人暮らし、急な用事で一人になることが多い男性の人は、食事のバランスが不規則になりやすいので、食事のバランスを考えた料理を作っていました。

Old Kyu News(平成19年10月)



ライアン先生！！

10月1日から町のAET(英語指導助手)にRyanHagglund(ライアン・ヘーグランド)先生がやってきました。

ライアン先生はアメリカ出身の32歳。これまでも山形学院高校や真室川町でAETを勤めるなどし、日本語もペラペラ。

皆さん「ライアン先生！」と気軽に声をかけてくださいね。

Old Kyu News(平成19年9月)



河川一斉清掃に2,000人

9月30日、河川一斉清掃が行われ、朝6時という早い時間から約2,000名の方からご協力をいただきました。

近年、ポイ捨て禁止などの意識が根付いたことなどにより年々、ごみは少なくなっているようですが、この日もトラック10台分のごみが回収されました。

朝早くからご協力いただきありがとうございました。



行政相談員出前教室

9月27日舟形小学校で県内初となる行政相談員の出前教室が開かれました。この日は行政相談員の伊藤宏さんと山形行政評価事務所の絹野さん、町総務課職員の3名がゲストティーチャーとして参加しました。

児童からは「バス停にベンチが欲しい」など、町の不便な点などについて要望書が手渡されていました。



五橋中稲刈り体験

9月26日、今年5月に教育旅行で舟形町を訪れた仙台市立五橋中学校の伊藤校長先生が初めて舟形町を訪れ、稲刈りを体験しました。

今日刈り取った稲は、春に生徒らが植えたお米。このお米を使って11月には収穫感謝祭が行われます。

伊藤校長先生は舟形町のことを大変気に入っていただいたようで、今後も交流が続いていくよう期待しています。



光生園で避難訓練

身体障害者養護施設「光生園」で秋の総合防災訓練が行われました。光生園を利用されている方は車イスの方が多いため、日頃から防災の意識が高く、総合防災訓練も春と秋の年2回実施しています。

訓練では舟形消防分署の指導の下、高度な技術の訓練に真剣な眼差しで取り組んでいました。



堀内小学校稲刈り

9月19日、堀内小学校で秋の風物詩稲刈りが行われました。家が農家でなく、初めての稲刈りという児童も多いようでしたが、収穫の喜びを肌で感じているようでした。

6年生の児童は「昨年よりも多く取れて嬉しい。冬の餅つきが楽しみ。」と感想を語っていました。



陶芸教室開催

9月16日、陶芸教室が生涯学習センターで、18名が参加して実施されました。講師は、昨年に引き続き陶工房～Noah～代表の金寛美さん。

今回は、手口クロという手法で湯飲みやどんぶり、ぐい飲みづくりに挑戦。参加者それぞれに面白い発想の作品が多く、焼き上がりがとても楽しみです。



敬老会で堀内囃子

9月16日堀内地区の敬老会が行われ、堀内小学校の堀内囃子が披露されました。

この堀内囃子は昨年の卒業生が作曲したもので、5・6年生がそれを引き継いで演奏しています。昨年は衣装もない状態でしたが、今年、堀内地区の長寿会から裃が寄贈され、併せてその伝達式も行われました。



保育所運動会

9月15日、町の3つの保育所で運動会が行われました。来年度から保育所が統合するということもあり、各保育所では最後の運動会です。

児童や保護者、地域の方が参加しての競技など工夫を凝らした種目が行われました。



若鮎まつり

第27回ふながた若鮎まつりが9月8・9日の2日間に渡り開催され、約20,000人の観客で賑わいました。

ゲストを迎えての、新沼謙治歌謡ショーでは、舟形町出身の西条由紀子さんが飛び入りし、デュエット曲を披露しました。

また、ミス若鮎コンテストでは近年になく町内、県内の方が多く参加され、新庄市の柿崎さんがミスに選ばれました。



長沢保育所児童がSL乗車

9月8日、9日に陸羽東線開業90周年を記念し、SLが運行されます。

9月5日には試験運行に、長沢保育所の児童が乗車しました。

参加した児童らは初めて乗るSLに「かっこいい！」「すごい！」と大はしゃぎ。出発時に汽笛が鳴らされるとその音の大きさにびっくりして思わず耳をふさいでいました。



さばね山相撲大会

8月24日、250年の歴史を持つ奉納さばね山相撲大会が開催されました。午前中の小学生の部には児童55名が出場。今年から実施された北の湖杯には各小学校から選抜された猛者が出場し、学年オープンで舟形町の横綱をかけた取り組みが行われました。

また、富長小学校が圧倒的な強さで昨年に続き優勝しました。



おめでとう！成人式

8月14日、中央公民館で成人式が行われました。昨年より4名多い、新成人107名を代表して星川健治さんと落合瞳さんが「成人としての自覚を持って行動します。また、先日病気のため亡くなった友の分も精一杯生きていきます。」と誓いの言葉を述べました。

記念講演では、冒険家の大場満郎さんから「極地の旅で学んだこと」と題して講演いただきました。



舟形中野球部県大会へ

8月11日、東北少年軟式野球新人大会が行われ、舟形中学校野球部が優勝し県大会へ駒を進めました。

舟中野球部は6月の中体連後新しいチームに移行してから、練習試合で1度負けただけという郡内きっての強豪チーム。

9月8日からの県大会での活躍に期待です。



初めての鮎釣り

8月8日、舟形中学校の鮎釣り体験が行われました。会場となった一の関大橋付近の小国川には2年生約60人が集結。ほとんどの生徒が初めてということで講師の先生の指導の下慣れない手つきで竿を操っていました。

参加した生徒は「鮎釣りは生まれて初めて。種鮎がすぐ弱ってしまっすぎて難しい。」と語っていました。



港区との交流活動

8月4～5日にかけて、東京都港区の東麻布街づくり協議会のみなさん約50名が舟形町を訪れ、自然体験や堀内小学校児童との交流を楽しみました。

この交流は廃校になった旧飯倉小学校とのつながりの中から生まれたものです。台風5号の影響も心配されましたが、大きな影響もなく、児童らは思う存分川遊びを満喫していました。



昔なつかし「どんづき唄」

40年程前、家を建てる際の基礎固めに「どんづき」をどの家でもやっていました。この「どんづき」は土を搗く「土搗き」が訛ったものようです。

8月4日、長尾町内会のビアパーティーの中で昔なつかしい「どんづき唄」が披露され、唄を知る世代の方は、昔を懐かしむように、満面の笑顔で手拍子を打っていました。

長沢地区どんづき唄保存会の会長、叶内健一さんは「もう我々の世代でないと唄える人はいない。次の世代にもつなげていきたいという思いで唄っている」と語っていました。



園児の買い物ごっこ

8月2日、長沢保育所の園児9名が買い物を体験しました。

明日は楽しいカレーパーティーです。今日はその材料を園児だけで買い物です。

お肉、ニンジン、タマネギなどカレーの材料はちゃんと買ったかな。明日のカレー作りもがんばってね。



福寿湖でカヌー遊び

8月1日、田舎まるごと体験で宮城県の小学生56名が舟形町を訪れ、カヌーやマリッジットなどを体験しました。

今回訪れたのは名取市及び亙理町でスイミングクラブのメンバーで、プールとは違う水を楽しんでいました。

舟形町では地域の方の協力を得ながら、体験メニューをご用意しています。田舎体験をお考えの方はぜひご利用ください。詳しくはホームページの「自然・田舎まるごと体験塾」をご覧ください。

Old Kyu News (平成19年8月)



正しい食生活を身につけよう

8月1日、ヘルスサポータープログラムが行われ、舟形中学校の20名が食事の大切さを学びました。この日は栄養や食生活などについて学んだ後、調理実習に挑戦しました。ツナ入りクリームシチューやミカンのヨーグルトゼリーなど4品を作りました。

これからは夏休み本番です。間食を控えて正しい食生活を送り元気な身体を作りましょう。



中学生が職場体験

舟形中学校の3年生のキャリアウィークが8月1日～2日にかけて行われ、それぞれが希望した職場に分かれて、職場体験を行いました。

ヤクルトレディーに挑戦中の生徒は「大変だけど面白い。やりがいがある。」と語っていました。

自分にピッタリの仕事を見つけられたかな？

Old Kyu News (平成19年7月)



福昌寺で坐禅会

7月30・31日、福昌寺(長沢)で坐禅会が行われ、児童31名が参加しました。

この坐禅会は子どもたちの健全な育成を目的として行われているもので、38回目となる今回は「命の大切さ」を学ぶ」というテーマで、坐禅とレクリエーションを体験しました。

参加した児童らは「ご先祖様から代々受け継がれてきた命なのだから大切にしなければならなかった」と感想を述べていました。



チーム幅が準優勝！

7月30日、消防操法大会の最上支部大会が行われ、舟形町の代表である第1分団第10部(幅)が準優勝という輝かしい成績を収めました。

チーム幅は6月上旬から町の大会に向けての練習を開始し、今日まで約2ヶ月間という長い長い期間、鍛錬を重ねてきました。

指揮者を務める大場満さんは「町の代表として無様な姿は見せられない。やるからには最後までやり遂げるという気持ちで頑張ってきた。」と語っていました。

また、この日は幅町内会の大応援団52名が応援に駆け付けました。町内会長の伊藤準悦さんは「これまで団員のみんなはよく頑張ってきた。今日はその成果が思う存分発揮されたと思う。本当にご苦労さま。」とねぎらいの言葉を語っていました。

チーム幅のみなさん、本当にお疲れさまでした。そしておめでとうございます。



児童交流学習で夏の思い出

7月21日～23日にかけて児童交流学習が行われ、山崎小から57名、代沢小から34名の児童が舟形町を訪れました。

初日はあいにくの雨空。地区の歓迎会も急遽屋内になってしまった所もあるようです。

2日目はみんな楽しみにしていた川遊び。前日までの雨がうそのようにこの日は蒸し暑く、絶好の川遊び日よりとなりました。

2泊3日の児童交流でみんなどんな思い出ができたのでしょうか。



舟小で水泳記録会

7月19日、舟形小学校で水泳記録会が行われました。児童らはそれぞれの泳力に合わせ、ビート板を使ったり、50mに挑戦したりと、日頃の水泳授業での練習の成果を一杯発揮しました。

児童らは「全力で泳いだけど、足を着いてしまった。来年は25m泳ぎ切れるように頑張りたい」と意欲満々に語っていました。



遊々塾で川遊び

7月14日、長沢子ども遊々塾が開催され、子ども59名を含む総勢129名が川遊びを楽しみました。

待ちに待ったこの日の天候はあいにくの曇り。それでも子どもたちは元気いっぱい川遊びやボート乗りを楽しんでいました。

これから川遊びが楽しい時期ですが、事故に遭わないよう、必ず大人の人と一緒に川遊びしましょう。



堀内地区で三人展

7月9日～13日までの期間、堀内地区の農村環境改善センターにて三人展が開催されています。

この展示会は堀内地区の有志3名がそれぞれ手作りした、小盆栽、ウチョウラン、蟻人形を展示しています。

みなさん、ぜひご覧下さい。



勤労者野球大会で熱戦！

7月8日、舟形町内に勤務している方や、愛好会などを対象にした勤労者野球大会が開催され、4チームが熱戦を繰り広げました。

選手は中・高校で野球経験のある方が多く、ハイレベルな戦いとなりました。

また、会場となった町民グラウンドにはママや子どもたちも大勢駆け付け、パパのカッコいい姿に「かつ飛ばせー」などと大きい声で応援していました。



ソフトボールを楽しんだぞ

7月8日、舟形中学校グラウンドを会場にソフトボール大会が開催されました。30度を越える炎天下の中、参加した3チームの選手らは元気いっぱい爽やかな汗を流していました。

反省会ではおいしいビールが飲めそうですね！

また、毎年10月に行われるスポーツの祭典「スポーツフェスティバル」への出場も期待していますよ。



堀小で不審者対応訓練

7月3日、堀内小学校で不審者対応避難訓練が行われ、無理矢理、車に乗せようとされた場合の対処の方法を学びました。

不審者役に扮した新庄警察署の警察官が「道を教えてよ」としつこく声をかけると、「分からないので大人の人に聞いて下さい！さよなら！」とはっきりと断り、逃げるよう指導を受けていました。

本当に悪い人はごくわずかですが、今日の訓練は絶対に忘れないで下さいね。



夏だ！！鮎釣り、はじまる！

7月1日は待ちに待った鮎釣り解禁の日。町内の方だけでなく、県内外の方、遠くは関東方面から訪れた方もいたようでした。

7月8日には、釣り具メーカー主催の鮎釣り大会が開催され、164人という過去最大の参加選手により競技が行われました。大会で釣り上げられた鮎は町内の小中学校や福祉施設などに配られ、給食などに利用される予定です。



夏季非常招集訓練実施

7月1日、実栗屋地区で夏季非常招集訓練が行われました。この日は舟形町で震度6の地震が発生し、各地で火災が発生したという想定で放水訓練や水防訓練などが行われました。

また、後半には地域の方の初期消火訓練も行われ、消火器を使用しての消火訓練を行いました。

普段使うことのない消火器も、こういった際に訓練しておけば万が一の際には落ち着いて行動できるはずですね。



トップ選手のプレーに感動

6月30日～7月1日にかけて、B&Gセンターを会場に新庄地区小・中学校卓球強化合宿が行われました。

新庄地区で初めての企画となった今回の合宿には、曹嘉款選手(中国出身:東北福祉大学2年)を講師にお招きしました。曹選手は平成17年度のインターハイ女子シングルスで優勝するなど、日本のトップクラスの選手です。

参加した児童らは生で見るトップ選手のプレーに目を丸くしながらも、もっと強くなりたいと真剣に練習していました。



舟小で子ども見守り隊結成

6月25日、舟形老人クラブが中心となり子供見守り隊が結成されました。「じいちゃん・ばあちゃん見守り隊」と名付けられたこの隊は、子供を事件や事故から守る活動を実施します。

これから、登下校時のみなさんに積極的に声をかけて、安全な生活ができるよう見守っていきます。

知らない人には絶対ついて行かないこと。みなさん必ず守りましょう。



消防操法大会、幅が4連覇!

6月24日、アユパークを会場に消防操法大会が開催され、20チームが練習の成果を出し合いました。操法大会は動作の正確さとタイムを競う全国的な大会です。

今大会では優勝候補筆頭の1-10(幅)が4連覇を果たしました。

また、1-10の3番員、伊藤貴大氏が減点0の個人賞に輝きました。

消防団のみなさん、長期間に及ぶ練習など大変お疲れさまでした。



小学生から英語学習!!

6月22日、町内全小学生の3年生53名が、全国的にも有名な阿部フォード恵子先生の英語授業を受けました。

恵子先生の授業は、見て、聞いて、体を動かすことで身に付ける楽しいもの。

舟形小3年生の沼澤南ちゃんは「CDを聴いて、歌って踊って、いろんな言葉を覚えられて嬉しい。これからも楽しく英語を勉強したい」と感想を述べていました。



新庄北高吹奏楽部の迫力の演奏

6月18日、舟形小学校で新庄北高校吹奏楽部の演奏を聴く会が開催され、舟形小と富長小の児童らのほか、地域の方も数多く訪れ、生の吹奏楽を楽しみました。

吹奏楽部の58名は、前半にオブラディ・オブラダなど4曲を、後半にはマーチングでルパン三世のテーマなど3曲を演奏しました。

舟形小5年生の太田麗くんは「きれいな演奏でリズムがぴったりですごい」と感動した様子で感想を述べてくれました。



老人クラブとミニ運動会

6月13日、舟形保育所で毎年恒例の舟形老人クラブのみなさんと児童とのミニ運動会が行われました。

まり入れや輪投げなど5種目を通して児童と高齢者の交流を深めていました。



富長小学校でプール掃除

6月下旬のプール開きを前に、6月11日富長小学校でプール掃除が行われました。

ヌルヌルした苔をブラシできれいに掃除しました。

この日は気温30度近い夏日になったこともあり、児童らはビショビショになりながら、楽しそうに掃除していました。

みなさん、プールでの事故などないように注意してプールを楽しんで下さいね。



八鍬沙也夏さん全国大会へ

6月10日、全国卓球選手権大会山形県予選会が行われ、八鍬沙也夏さん(長小4年:長尾)が3、4年生の部女子シングルスで見事ベスト8入りを果たし、全国大会出場を決めました。

この部門は100名近い出場者がいる激戦区で、全国行きは最上郡内でも初めてという快挙です。

お父さん、お兄ちゃんの影響で昨年から卓球を始めたという沙也夏さん。「予選リーグを勝ち抜き、10位以上を目指したい」と抱負を語ってくれました。7月下旬に兵庫県で行われる全国大会での活躍に期待です。



舟形老人クラブが雑巾を寄付

6月11日、舟形老人クラブの12名が舟形小学校を訪れ、雑巾約80枚を寄付しました。この雑巾の寄贈は10年以上前から行われています。

「古いものを捨てないで大切にしたい。」そういった気持ちを込めて一針一針手で縫い合わせたということです。

老人クラブの沼沢貞雄会長は「きれいな教室にするよう毎日がんばって下さい」とエールを送っていました。



辰巳会記念植樹

6月9日、昭和30年度舟形中学校卒業生約30名が母校に桜の植樹を行いました。

卒業以来、会として母校を訪れたのは初めて。昔と変わってしまった周囲の環境に驚きの声を上げていました。

同級会がきっかけで発足し、辰巳会と名付けられたこの会には、現在、舟形町を離れ生活している方も大勢参加しており、今回、懐かしの再会となりました。



目指せ！大会新記録！

6月6日、町内小学校陸上記録会が行われました。

この日は町内4小学校の4～6年生が100m走、走り幅跳び、走り高跳びなど学年ごとに別れて競技を行いました。

今大会では4年男子1,000m走で舟小の伊藤大輝くんが、また、4年女子100m走で舟小の土田夢舞さんが大会新記録を樹立しました。

入賞されたみなさん、大変おめでとうございます。



ド迫力の轆馬大会

6月3日、第21回目となる東北轆馬競技舟形大会が開催され、23頭の馬がスピードとパワーを競い合いました。

この日は天候にも恵まれ、1,200人のお客様が熱戦を観戦。ポニーとのふれあいや馬車の乗車なども行われました。

昼食時のアトラクションでは太極拳舟形教室、一の関婦人会、舟形小6年生の踊りが披露されました。

また、スタッフとして一の関町内会・消防団の皆さんからお手伝いいただきました。みなさん、暑い中ご協力いただきありがとうございました。



おいしくな〜れ！

5月31日、長沢保育所で春の風物詩“よもぎ団子”作りが行われました。毎年行っているこの行事も、今年は児童だけで実施です。「うまくできるかな」との心配をよそに、とても上手に次々と団子を作っていました。

児童らは「おいしくな〜れ」と声を掛けながら、心を込めて団子生地を丸めていました。

今日作ったよもぎ団子はおやつの時間にきな粉をつけておいしく食べました。



鮎さん、大きくなってね

5月30日、舟形小学校の2、5年生が近くの小国川で鮎の稚魚の放流を行いました。

この日放流した鮎は3月下旬から小国川漁協の稚鮎センターで飼育されていた500尾で、7月1日の鮎釣り解禁まで、1日約1gずつ大きくなります。

5年生の海藤和紀くんは「川の水が冷たかったけど、すごく楽しかった。元気に大きく育てて欲しい。」と語ってくれました。



長沢小で田植えだよ！

5月23日、長沢小学校の学校田で田植えが行われました。田植えの経験が少ないという5・6年生が裸足で田んぼに突入。今年で2年目の6年生がどんどん進んでいくのに対し、今年初めての5年生は田んぼに足を取られなかなか進みません。

5年生の高橋瑞希さんは「田植えは初めてで、難しかった。でもなかなかきれいに仕上がったと思う。」と語ってくれました。



松橋わらび園オープン

松橋わらび園が5月20日オープンしました。この日は200人を超えるお客様が来場し、松橋地区は大賑わいとなりました。

同園のわらびはスジが少なく、ツルツルとした触感がきわだつ絶品です。

毎週、水・土・日曜日の朝8時開園で、2時間2,000円の同園は完全予約制です。



男子5位入賞・女子5位入賞

5月13日、新庄市で最上地区中学校駅伝大会が開催されました。

舟形中学校は男子総合5位入賞、女子総合5位入賞という成績を収めました。

各区間の入賞者は次のとおりです。

男子 6区 2位 長南 悠樹(2年)

女子 3区 3位 森 真奈美(2年)

女子 4区 3位 渡辺 緑(1年)

入賞された皆さん、おめでとうございます。



ヘッザー先生のママが来町

昨年度からALTとして舟形町教育委員会に勤務している、ヘッザー先生のお母さんがカナダから来日し、5月15日富長小学校の授業に参加しました。

6年生の授業の際には和太鼓での歓迎を受けた後、教室で授業に参加。児童らは“折り紙”を折ってプレゼントしました。

また、日本の伝統である法被に袖を通すと、満面の笑顔で「wonderful!」と語っていました。



ドライブマナーアップキャンペーン

5月14日、交通安全推進協議会と交通安全母の会が中心となりドライブマナーアップキャンペーンが行われました。

参加した10名は、国道13号線脇の駐車場で、交通安全を呼びかけるチラシとティッシュなどを150台のドライバーへ手渡していました。

参加した斎藤和子さんは「今年の春の交通安全県民運動は子どもと高齢者の事故防止をテーマに行われるが、飲酒運転の根絶にも力を入れて取り組みたい」と語っていました。



竪穴式住居の修復作業

5月14日、若あゆ温泉周辺のあゆっこ広場にある、縄文竪穴式住居の修復作業が急ピッチで行われていました。

平成15年に山形国民文化祭の開催に併せて建築された同住居ですが、大雪が続いたことなどもあり、昨年からの修復作業を実施しておりました。

快晴のこの日、修復作業は完了間際となりもうすぐ一般の方へ完成品が公開されることとなります。



ラ・フランスの摘花が最盛期

5月10日、長者原地区でラ・フランスの摘花作業が最盛期を迎えています。

豊岡学さんの果樹園では母の恒子さんが枝いっぱいについた花芽を摘んでいました。

花芽の下にはぷっくりした果実の赤ちゃんがすでに付いており、6月下旬頃には摘果作業が本格化することです。

農家の愛情をいっぱい受けたラ・フランス。旬は11月頃になりそうです。



交通安全・事故防止！

5月9日、舟形町交通安全推進協議会の会員の方が、交通安全を呼びかける看板を設置しました。

今回設置したのは長沢地区の事故多発地帯で、カーブや登り坂などで見通しが悪い場所です。また、ここは小学生の通学路にもなっており、子どもの事故防止を呼びかける看板も設置されました。

5月11日からは春の交通安全県民運動がスタートします。交通ルールを守って事故のない社会を目指しましょう。

みなさん、飲酒運転は絶対ダメですよ。



料理人ってかっこいい！！

5月8日、長沢小学校で第4回目となるようこそ先輩が行われました。

今回は長沢小出身で、現在は山形市のパレスグランデール総料理長の高橋正伸氏をお迎えしてご講演いただきました。

また、後半には実際に料理姿を披露していただき、参加した5・6年生からは「おいしそう」と歓声が上がっていました。

6年生の伊藤鋺樹くんは「すごくかっこいい。僕も料理ができる男になりたい。今日の料理は100点満点。」と感想を述べてくれました。



春季消防大演習

5月5日、春季消防演習が行われました。猿羽根太鼓保存会による勇壮な纏太鼓で幕を開けた演習は、幼年消防クラブの行進、そして加藤団長を先頭に消防団員約400名が中央公民館前の通りを分列行進しました。

アユパークでは、小・中隊訓練やポンプ操法が繰り広げられたほか、県消防防災航空隊のヘリコプター「もがみ」による救出救助訓練も披露されました。

Old Kyu News (平成19年5月)



鈴木倉蔵さん100歳！！

5月3日に数え100歳を迎える鈴木倉蔵さん(長者原)へ、町で14人目となる長寿褒章が送られました。

今でも鶏を飼い、炊事や洗濯などの家事も自ら行っているそうで、幼い頃「何でも自分でしなさい」という教えが、100歳を迎えた今でも身に付いているのだそうです。

「一人ではここまで生きられなかった。妻をはじめ多くの人に支えられて生きてきた。この喜びは言葉に表せない」と語って下さいました。

Old Kyu News (平成19年4月)



見事！！銅板鍛金

4月25日、町銅板鍛金愛好会の講座が開催され、作成途中の作品を持ち寄り先生から指導を受けていました。完成品は金と黒のコントラストが見事で、表札や家紋などにも使用されます。

舟形町で第一人者の阿部忠義さん(木友)は「ごまかしがきかないため、家紋が最も難しい。しかし、完成品を見ると自分の作品でも感動する。」と語っていました。



ごみを捨てないで！！

4月20日光生園職員らによるゴミ拾いボランティアが行われました。この活動は雪が解けたこの時期に毎年実施されているもので、この日は軽トラック1台分のゴミが集まりました。

「カンやビンなんて、誰が捨てているんだろう」そんな声が数多く聞かれます。その誰かにならないよう、皆さん気を付けましょう。

毎年この時期は各地域で盛んにゴミ拾いが行われます。参加された皆さんありがとうございました。



舟形小学校で自転車のお勉強

4月20日、舟形小学校グラウンドで自転車教室が開催され、3～6年生が自転車の乗り方を学びました。グラウンドには模擬道路が白線で描かれ、交差点では鈴木舟形駐在さんの手信号に従い、きびきびと取り組んでいました。

児童らは「普段と違う勉強ができて楽しかった」「自転車の乗り方を教えてもらったので生活の中でも役立てたい」などと感想を述べていました。



富長小学校で交通安全教室

4月16日、富長小学校で交通安全教室が開催されました。徒歩通学は初めての1年生。

児童らは交通指導員さんや堀内駐在さんらの指導の下、横断歩道では素早く渡ることなどを学んでいました。

通学の際は交通事故に遭わないよう十分に気を付けて下さい。また、ドライバーも子どもを見かけたら減速が原則ですよ。



デマンドタクシー始まる

4月1日からデマンドタクシーがスタート。1日当たり5～6人が利用しているようです。

午前8時頃に町各所を出発し県立新庄病院まで運行、午後2時30分に県立新庄病院を出発するデマンドタクシー。

利用している方からは「予約も簡単だし、便利。」などの声が聞かれるなど好評のようです。



保育所で入園式

4月5日、舟形町内の3つの保育所で入園式が行われ、園児47名が新たな一歩を踏み出しました。

真新しい園児服を身にまとった園児らは保護者に手を引かれ会場へ。中には泣き出してしまう園児もいましたが、「みんなのうた」が始まると手を叩きながら、大きな声で歌っていました。

まだ小さな子どもたちも3年間の保育所生活で大きく成長してくれることでしょう。



3月29日、舟形町食生活改善推進協議会の24人が「ごぼうたたき」づくりに挑戦しました。この日は近隣の金山町から笹原清子さんを講師にお招きしての研修会。ごぼうたたきは茹でたごぼうを板状に伸ばすのがポイント。参加された方からは「自宅でも挑戦して出品したい」などと意欲的な言葉が飛び交っていました。